土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　沼田川水系東川　災害関連緊急砂防事業に伴う業務委託　（測量・土質・設計）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	No.5	調査位置	三原市大和町			北　緯	34° 30’ 10.0793″
発注機関	広島県東部建設事務所　三原支所			調査期間	平成31年 4月19日～平成31年 4月23日	東　経	132° 55’ 11.4150″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	DL 293.60m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	44° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D2G-58
総掘進長	6.00m								エンジン	ヤンマーNS-130	ポンプ	東洋BP1

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	292.90	0.70		礫混じり砂		褐			中～粗砂を主体。 径4cm以下の礫を20～40%混入する。	0.48 ▽
1				玉石		暗褐 淡褐灰			花崗岩質。 L=10～20cmの玉石が連続する。 玉石間は土砂を挟む。 玉石は潜在亀裂が多い。	
	291.80	1.80								
2				礫混じり砂		茶灰	rd3		中～粗砂を主体。 径4cm以下の礫を20～40%混入する。 GL-2.90m付近に径10cm程度の玉石が混在する。	
3	290.50	3.10	+ + + + + + + + + + + +	花崗岩		灰褐			DM級岩盤。 風化が進行し撹乱すると土砂化する。 部分的に細礫状コアとなるが指圧で崩れる。	
4	288.90	4.70	+ + + + + + + + + + + +	花崗岩		灰褐			DH級岩盤。 風化が進行し撹乱すると径5～10cmの短柱状～岩片状コア主体で採取するが指圧で崩れ、細礫～土砂化する。 GL-6.0m付近から風化が著しく土砂化する。	
5										
6	287.60	6.00								
7										
8										
9										
10										
11										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	2.15	5	9	8	22/300		
22	2.45						
	3.15	18	12	20/70	50/270	270	
50以上	3.42						
	4.05	12	19	19/90	50/290	290	
50以上	4.34						
	5.00	50/30			50/30	30	
50	5.03						
	6.05	18	32		50/200	200	
50以上	6.25						

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				4/19
				4/22
				4/23